

募集概要

- 名称
次世代理系人材育成プログラム助成
- 助成金額
年間最大500万円を最長5年間(計2500万円)
- 応募資格
全国の国公立大学・高等専門学校
(主実施機関)
- 募集期間
令和4年10月1日~11月20日
- 決定時期 令和5年2月末
- 助成期間 令和5年4月から令和10年3月までの最長5年間

中谷医工計測技術振興財団とは

中谷財団は、シスメックス株式会社の創業者・中谷太郎が昭和59年に「中谷電子計測技術振興財団」として設立しました。その意思を継いだ子息の中谷正の遺贈を受け、平成24年に大きな事業が行える財団へと生まれ変わりました。同年には、公益財団法人に移行し現在の財団名となりました。

当財団は、医工計測技術の広範な発展を推進し、社会および国民生活の質の向上に寄与することを目指しています。医工計測技術分野における先導的技術開発の助成を中核として技術開発に顕著な業績をあげた研究者への表彰や技術交流への助成等の事業を行っています。

また、若手人材育成のため、科学教育振興をはじめ大学生の留学サポートや大学院生向け奨学金等の助成事業も行っています。

文部科学省後援

科学教育振興助成



対象
大学・高専

科学が好きな子が
減ったんじゃないかと
科学が身近にない子が
増えたんじゃないかな？

見出せ。次世代「科学力」



内容

主実施機関が地域拠点として他教育研究機関、科学系博物館等と連携し、理数系に優れた資質を持ち、理科への関心が高い中学生を教育委員会の協力も得ながら、地域で募集・選抜し、子どもたち一人ひとりの個性や特徴、多様な興味関心を汲み取って伸ばす、体系的・組織的なプログラムに対し助成します。

対象生徒

中学校1~3年生

受講生の募集

受講希望者を地域から広く公募し、受講生の意欲・能力を客観的に評価し選抜してください。
教育委員会の協力も得て、募集が広く周知され、多くの生徒に機会が与えられるようにしてください。

審査方法

審査委員会において審査選考し、理事会にて最終決定いたします。
一時審査として書類選考を行い、二次審査は一次審査を通過された機関に対し審査委員による面接審査を行います。(令和5年2月上旬を予定)
面接審査の結果は主実施機関の実施担当者宛に通知します。

応募方法

財団ホームページから必要書類をダウンロードし、記入・押印のうえ、財団神戸分室あてに郵送するとともに電子データ(PDF)をメールにて送付してください。

応募前に必ずHPに掲載の募集要項・FAQをご確認ください。

電子データは
令和4年11月20日必着
(郵送は同日消印有効)

応募の流れ

財団HPから必要書類をダウンロード

書類を記入・押印

財団へ郵送&メール送付

応募完了

お問い合わせ

公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
国際健康開発センタービル(IHDビル)5階

本部 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階

e-mail : sci-edu@nakatani-foundation.jp URL : <https://www.nakatani-foundation.jp>

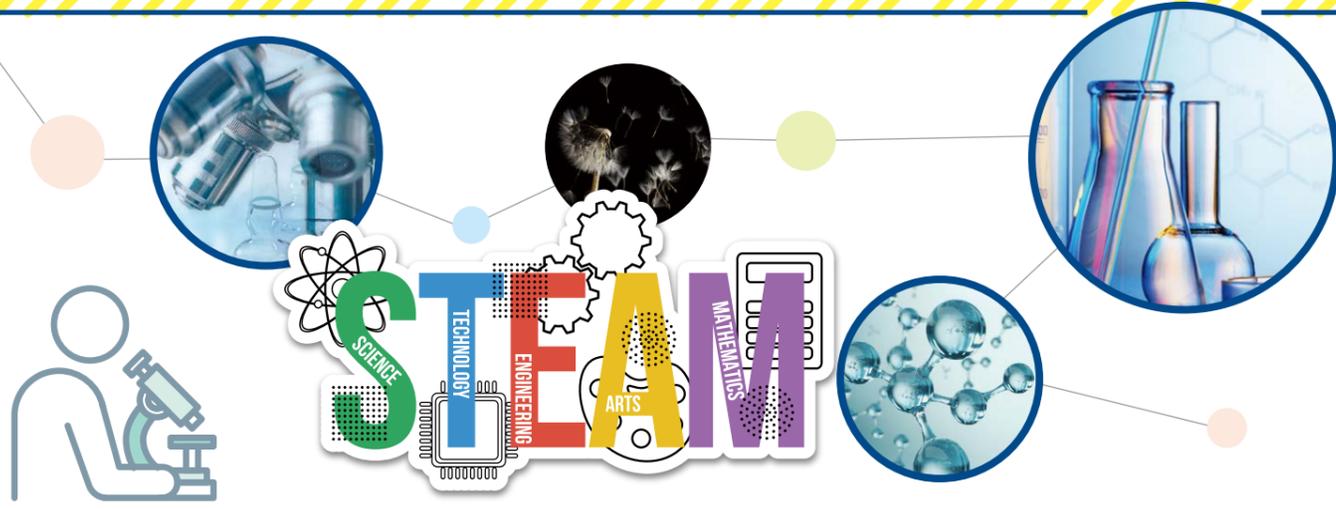


小学校、中学校、高等学校を対象とした
科学教育振興助成も募集しています。 [詳しくはHPをご覧ください。](#)

次世代理系人材育成プログラム助成

令和4年
募集期間 10.1^①-11.20^②

公益財団法人
中谷医工計測技術振興財団



理科への関心と意欲ある中学生に向けて地域の期待と、成長への想いを込めたプログラムです。

公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団（以下、中谷財団）では、将来を担う子どもたちの論理的思考力や創造性を育み成長させることが、科学技術の発展はもとより我が国の発展に寄与するものと考え、小学校、中学校、高等学校における科学教育振興を目的とした取組みに対して助成する事業を実施しています。この度、理数系に優れた資質を持つ中学生を発掘し、一人ひとりの多様な興味関心を汲み取って伸ばし、将来理系分野で活躍する人材を育てる体系的なプログラムに対して助成する事業を追加いたしました。



理数系に優れた資質を持ち、理科への関心が高く意欲のある地域の中学生

例えば、こんな企画プログラム

地域の理数系に優れた能力を有する中学生、理科への興味関心が高く学ぶ意欲のある中学生を募集・選抜

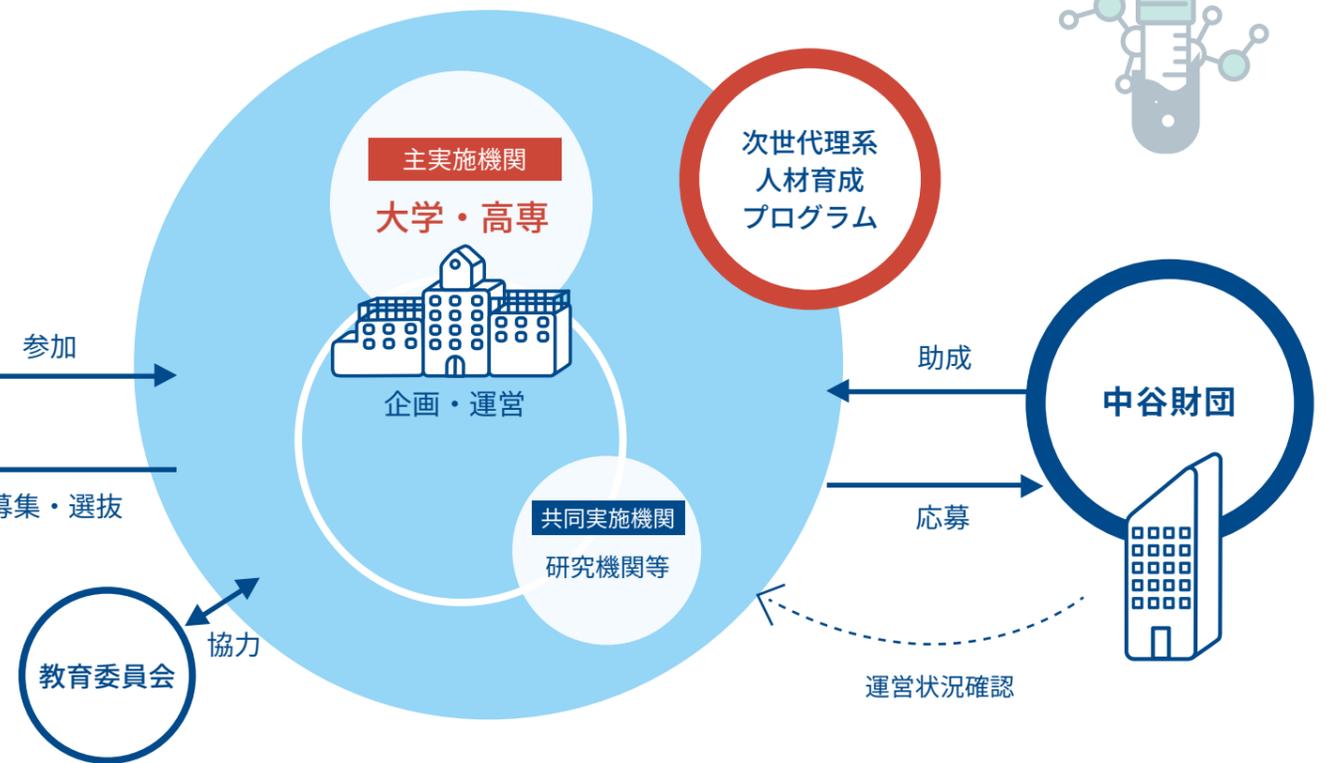
週末や夏季・冬季休暇中に、大学が企画した研究の基礎を学ぶ講義や最先端研究者の講演、実験、施設見学、サイエンスを学ぶ上でのリベラルアーツなど、年間を通した体系的なカリキュラムを実施

研究したい中学生を選抜し、学内外のメンターとマッチングさせ、それぞれの掘り下げたい研究のテーマの設定から、科学的なアプローチの仕方、結果のまとめ方、発表のしかたまでを指導する。科学系コンテストへの出場をサポートする。

将来理系分野で活躍する次世代理系人材へと成長



科学の体験講座やイベントなどの機会が少ない地域の理科教育活性化につながるプログラムを実施（地域によってはオンラインも併用）



次世代理系人材育成プログラム助成

目的 大学・高専等が地域拠点となり理科に興味のある生徒の能力を更に質的に伸ばさせる

実施機関 全国の国公私立大学・高等専門学校

対象生徒 中学生

助成金額 年間 500 万円を上限に最大 5 年間支援（最大年 4 件程度）



地域の熱意ある取り組みが、日本の科学の未来を変える。

大学や高専が教育委員会等と連携し、理科に関心の高い中学生や理数系に優れた資質を持つ中学生を、学校の枠を超えて募集・選抜し、大学・高専で企画した研究指導や実験など体系的な理科教育プログラムを募集します。

「令和の日本型学校教育」ではすべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現が期待されています。

参加者の多様な興味や関心、それぞれの追究したい分野を汲み取って更に伸ばすプログラムを期待します。

